

ちかざわ美樹議員 (日本共産党) のねばり強い活動で

学校トイレの改修が大きく前進



洋式化、ドライ化は待ったなしです。
ごいっしょに声をあげ、子どもたちの
学習環境を改善しましょう。

日本共産党市議会議員 **ちかざわ美樹**

住民と一緒に第八小学校トイレの悪臭を改善

ちかざわ美樹議員は、2015年に「第八小学校のトイレが臭くて授業にもさしかえる」「子どもたちが学校のトイレを使いたくないと、ガマンして走って家へ帰っている」——こんな声を聞いて直ちに学校調査に出かけ市に「緊急対応」を申し入れ

ました。また、地域のみなさんと一緒に署名運動にとりくんで346筆の署名を市にとどけ、改善を実現しました。

東京都の助成を求める意見書に 自民、公明、民主(旧民進党)が反対

ちかざわ美樹議員はつづいて直後の3月議会で、市内の公立小・中学校全般のトイレ改修問題を取りあげ、「もっと改修のペースを上げる必要がある」と要請しました。しかし、市は「予算不足」を理由に消極的な答弁に終始しました。

これをうけて、日本共産党市議団は「東京都に学校トイレ改修工事の財政支援を求める意見書」(15年3月)の採択を議会に提案しました。しかし、信じられないことに、自民、公明、民主(旧民進党)会派はこれに反対し、不採択となりました。



本年度は年間2校の改修を6校に前進

ちかざわ美樹議員はさらに昨年の6月市議会で、日本共産党市議団が新たに行った学校トイレ視察をふまえ質問しました。

を指摘した上で、「日野市は年間2校のテナポで進めてきたが、これでは遅すぎる。一気に進めてほしい」と求めました。

①全国の「洋式化」の到達率(下図)を示して、日野市は東京平均から10%近くも遅れていること、②東京都が「2020年までに学校トイレの洋式化率80%」を目指して予算を付けたこと、③汚れや臭いが床材に染み込んでいるウェット式(モルタルやタイル)のドライ化も急を要することなど

大坪市長は「その必要性というのは、当然共有できる」「なるべく御要望に応えるような改修の努力はしていきたい」と答弁しました。市はその後の9月議会の補正予算で新たに4校分の改修の設計予算を計上し、可決。18年度は、6校分の改修が行われる可能性が生まれています。

さらに テンポアップが必要

小学校17校、中学校8校、合計25校ある中で洋式化の到達率はまだまだ53・9%(18年1月)にすぎません。多くの子どもたちの不安な学習環境がつづいています。日本共産党は市民のみなさんと力を合わせ、いっときも早くすべての学校の「洋式化、ドライ化」の達成のため努力します。

公立小・中学校の洋式化率
(文部科学省2016年4月1日現在)

	洋式化率	和便器率
全国	43.3%	56.7%
東京都	54.2%	45.8%
// 23区	57.4%	42.6%
多摩島嶼	48.8%	51.2%
日野市	46.6%	53.4%

明るい日野

2018年1月号外
日野市石田427-10 小林功一

ちかざわ事務所

日野市日野34-1 ☎042-582-0505・FAX 042-843-3212

日本共産党日野市委員会の見解を紹介します。